

平成 24 年度事業報告書

(平成 24 年 3 月 1 日～平成 25 年 2 月 28 日)

会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	本年度末 平成 25 年 2 月 28 日 現 在	昨年度末 平成 24 年 2 月 29 日 現 在	
名誉会員	61	60	1
永年会員	251	249	2
正 会 員	4408	4667	-259
学生会員	757	714	43
維持会員	228	238	-10
特別会員	591	605	-14
公益会員	397	436	-39
計	6693	6969	-276

定款に定められた事項

①第 1 回定時総会 (定款第 17 条)

日時 平成 24 年 4 月 13 日
場所 五反田文化会館第一会議室 参加者数 95 名

②会誌、研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

- 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 24 年 3 月 5 日	2012 3	7000
至 平成 25 年 2 月 5 日	2013 2	7000
- 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 24 年 3 月 5 日	60 3	2250
至 平成 25 年 2 月 5 日	61 2	2250
- 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 24 年 3 月 10 日	28 3	750
至 平成 25 年 2 月 10 日	29 2	750
- 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成 24 年 3 月 10 日	28 3	web における配信
至 平成 25 年 2 月 10 日	29 2	
- メールマガジンを毎月 1 回発行した (配信数 4000)。
- 次の書籍を編集し、各出版社より発行した。
 - 1) 試料分析講座「アミノ酸・生体アミン分析」(丸善)
 - 2) 試料分析講座「タンパク質分析」(丸善)
 - 3) 試料分析講座「高分子分析」(丸善)
 - 4) 「現場で役立つ 水質分析の基礎 — 化学物質のモニタリング手法—」(オーム社)
 - 5) 分析化学実技シリーズ「環境分析」(共立出版)
 - 6) 分析化学実技シリーズ「電気化学分析」(共立出版)
 - 7) 分析化学実技シリーズ「蛍光 X 線分析」(共立出版)
 - 8) 分析化学実技シリーズ「熱分析」(共立出版)
- 教育用 DVD 並びにビデオシリーズの頒布を行った。

③講演会、講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

[研究発表会]

- 第 72 回分析化学討論会
日時 平成 24 年 5 月 19 日～平成 24 年 5 月 20 日
場所 鹿児島大学 参加者数 756 名
- 第 61 年会
日時 平成 24 年 9 月 14 日～平成 24 年 9 月 16 日
場所 金沢大学 参加者数 1224 名
- Separation Sciences 2012
日時 平成 24 年 7 月 19 日～平成 24 年 7 月 20 日
場所 北とびあ 参加者数 75 名

[講習会]

- 第 30 回分析化学基礎セミナー (無機分析編)
日時 平成 24 年 6 月 5 日～平成 24 年 6 月 6 日
場所 エッサム神田ホール 参加者 54 名
- 第 1 回「現場で役立つ ダイオキシン類分析の基礎」セミナー
日時 平成 24 年 6 月 8 日
場所 (株)島津製作所関西支社 参加者 17 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 14 回金属分析技術セミナー」
日時 平成 24 年 7 月 19 日～平成 24 年 7 月 20 日
場所 弘済会館 参加者 27 名
- 第 12 回分析化学における不確かさ研修プログラム
日時 平成 24 年 3 月 8 日・9 日
場所 日本電気計器検定本社 参加者 18 名
- 第 13 回分析化学における不確かさ研修プログラム
日時 平成 24 年 6 月 21 日・22 日
場所 日本電気計器検定本社 参加者 19 名
- 第 14 回分析化学における不確かさ研修プログラム
日時 平成 24 年 10 月 18 日 19 日 参加者 16 名
場所 日本電気計器検定本社 参加者 19 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 16 回水中の微量金属分析」
日時 平成 24 年 10 月 25 日及び平成 25 年 2 月 1 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 13 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 11 回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」
日時 平成 24 年 10 月 18 日～平成 24 年 10 月 19 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 24 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 13 回ダイオキシン類分析技術セミナー」
日時 平成 24 年 10 月 25 日～平成 24 年 10 月 26 日
場所 弘済会館 参加者 18 名
- 分析信頼性実務者レベル講習会「第 9 回有害物質規制に対応する化学分析技術セミナー」
日時 平成 24 年 11 月 16 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 28 名
- 第 2 回分析化学の基本と安全セミナー
日時 平成 25 年 2 月 20 日
場所 飯田橋レインボービル 参加者 48 名
- 電池開発のための分析・解析技術講習会
日時 平成 24 年 12 月 19 日
場所 大田区産業プラザ 参加者 50 名

[講演会]

- 日本分析フォーラム 2012
日時 平成 24 年 10 月 5 日
場所 一橋記念講堂 参加者 60 名

④調査、研究及び建議 (定款第 5 条(3))

[JIS]

- JIS K 0211「分析化学用語 (基礎部門)」は平成 23 年度に改正原案作成委員会を組織して建議のための調査研究を行い、(勸)日本規格協会に提出していたが、経済産業省の審議を経て、平成 25 年 3 月 21 日に改正版が発行された。
- JIS K 0214「分析化学用語 (クロマトグラフィー部門)」は平成 23 年度に改正原案作成委員会を組織して建議のための調査研究を行い、(勸)日本規格協会に提出していたが、経済産業省の審議を経て、平成 25 年 3 月 21 日に改正版が発行された。

- JIS K 0213「分析化学用語（電気化学部門）」の改正原案作成委員会を組織して建議のための調査研究を行い、(株)日本規格協会に提出した。
- JIS K0216「分析化学用語（環境部門）」の改正原案作成委員会を組織して建議のための調査研究を行い、(株)日本規格協会に提出した。

[技能試験]

- 事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公刊した。
- ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第6回トレーサビリティと不確かさ理解のための分析技能試験」
日時 平成24年3月30日開始
- ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第14回ダイオキシン類分析」
日時 平成24年7月13日開始
- ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第9回食品成分の分析」
日時 平成24年11月30日開始
- ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第9回プラスチック中有害金属成分の分析」
(有害物質規制/RoHS指令対応)
日時 平成24年11月30日開始

[標準物質]

- これまで開発してきた各種標準物質の保管、管理並びに社会への供給活動を継続して実施した。
- また、次の放射能標準物質を作製し頒布を開始した。
- 放射能分析用玄米認証標準物質
- 放射能分析用土壌認証標準物質

[関係団体との協力]

- 関連学術団体等が主催する研究会等に次のとおり協力した。
国際会議：平成24年5月17日 Symposium on Molecular Chirality ASIA 2012 (福岡) (共催) ほか9件
展示会：平成24年9月5日 JASIS2012 (後援) ほか3件
討論会並びに講習会等：平成24年3月2日 プラズマ分光分析研究会第84回講演会 (協賛) ほか101件
- 次の諸団体に参画し、種々の調査、建議に協力した。
日本学術会議
日本化学連合
化学関係学協会連合協議会
JABEE/化学分野 JABEE 委員会
化学情報協会
(株)化学技術戦略推進機構
グリーンサステイナブルケミストリーネットワーク
日本工学会
標準物質協議会
ASIANALYSIS 国際諮問委員会
Asian Analytical Chemistry Network
- 次の団体に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。
(一財)日本規格協会
(株)製品評価技術基盤機構
(株)産総研計量標準管理センター
(一社)日本試薬協会
(公社)日本セラミックス協会
(一社)日本環境測定分析協会
(公財)日本適合性認定協会
(株)日本分析機器工業会

⑤研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第5条(4))

- 2012年度学会賞を次のとおり授与した。
菅原 正雄君「生体チャネルの増幅機能および電気化学測定を基盤とする高感度センシング法の創成とバイオ分析への応用」
- 中井 泉君「革新的X線分析技術の開発と物質史の解説への応用」
- 中澤 裕之君「生活関連化学物質の微量分析法に関する研究」
- 2012年度学会功労賞を次のとおり授与した。

- 財津 潔君「バイオメディカル分野における新規蛍光分析法の開発と学会への貢献」
- 中村 博君「光化学的手法を用いた光学化学センサーの開発に関する研究と学会への貢献」
- 八尾 俊男君「フローインジェクション電気化学バイオセンサーの高機能化に関する研究と学会への貢献」

- 2012年度技術功績賞を次のとおり授与した。
中野 信夫君「極低濃度有害ガス測定法の開発とその製品化」
- 山田 隆君「全反射蛍光X線分析装置の開発と微量元素分析に関する研究」
- 吉川 裕泰君「鉄鋼業を支える微量元素の高感度・迅速分析法の開発および普及」

- 2012年度奨励賞を次のとおり授与した。
岡本 行広君「ナノ・マイクロ表面の高機能設計による高性能分離分析法の創成」
- 北村 裕介君「金属錯体の特異的な形成及び相互作用を利用した新規核酸プロローブの開発」
- 児玉谷 仁君「ルテニウム錯体化学発光反応におけるコリアクタント分子構造の最適化および環境・生体・食品中微量物質の分析」
- 佐藤しのぶ君「超分子相互作用を利用した電気化学的遺伝子検出法の構築」
- 山本 茂樹君「ラマン光学活性による溶液中タンパク質の構造解析法の開発」

- 2012年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。
JAIMA 機器開発賞

- 長嶋 潜・出羽 好・上野 博志各氏
「燃焼-イオンクロマトグラフィーによる有機・無機ハロゲン及び硫黄自動分析装置の開発」

- 三木 伸一氏「小型・高分解能マルチターン飛行時間型質量分析計の開発・製品化」

CERI 評価技術賞

- 手嶋 紀雄氏「フロー化学分析によるヒト代謝物質評価手法の開発」

- 2012年度有功賞を次のとおり授与した (敬称略)。
新谷 博志 毛利 直 加治屋清隆 川島 雄治
緒方 文明 谷山 貢博 六野 浩二 廣道 仁
林田 敏一 中野内将三 杉山 茂 五十嵐久次
中野 紀幸 樋口さゆり 村山 治 浜田 尚茂
河野 伸一 角 富美男 山崎 澄男 佐藤 育夫
日暮 若男 後藤 寛 西山登久雄 棚田 正治
安武 昭典 高橋 秀夫 矢野真一郎 織田 博樹
虫明 英男 朝日奈和人 安 孝則 渡辺 一郎
野田 秀人 高橋 幸弘 関 文俊 永井香代子

- 2011年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。
論文題名『PTFE製メンブランフィルターへのイオン対固相抽出によるクロム(VI)の高感度目視定量』

著者名：渡部貴裕・水口仁志・志田惇一 (山形大学大学院理工学研究科)

- 他機関による表彰及び研究助成に対して、会員を候補者として推薦した。

⑥その他前条の目的を達成するために必要な事業 (定款第5条(5))

[分析士認証制度]

- 分析士試験を次のとおり実施した。
液体クロマトグラフィー分析士3段試験 (平成24年6月17日, (株)島津製作所東京支社)
- 液体クロマトグラフィー分析士2段試験 (平成24年7月22日, (株)島津製作所東京支社)
- 液体クロマトグラフィー分析士初段試験 (平成24年8月27日, (株)島津製作所東京支社)
- LC/MS分析士2段試験 (平成24年11月20日, 五反田文化会館)
- LC/MS分析士初段試験 (平成24年12月26日, ゆうぽ

うと五反田)
イオンクロマトグラフィー分析士初段試験(平成25年1月27日、㈱サーモフッシャーサイエンティフィック東京オフィス)

分析士会設立総会・記念総会を行った(平成24年11月9日、五反田文化会館)

[広報]

本会の活動を記者会見、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。

[若手交流会]

各支部の若手交流会企画に対して支援を行った。また、分析化学討論会および年会での若手ポスター賞選考を行った。

[ASIANALYSIS XII 組織委員会]

委員を開催し、会議の具体的内容等について検討・決定を行った。

[AACN]

Asian Analytical Chemistry Networkに参加し、そのホームページを運用した。

[研究懇談会]

研究懇談会活動を次のように行った。

1) 有機微量分析研究懇談会

委員会を2回。第79回有機微量分析研究懇談会シンポジウムを6月7日～9日、鳥取市(とりぎん文化会館)で開催。(計測自動制御学会・力学量計測部会と共催、日本分析化学会中国四国支部、日本化学会、日本薬学会協賛、鳥取大学後援)で、特別講演2件、口頭発表10件、ポスター発表18件、その他各委員会報告、技術研修会および見学会を行った。講演会(第61年会9月19日、金沢大学角間キャンパス、招待講演1件)、第2回マイクロ電子天びん技術研修会(7月13日、理化学研究所)および第1回マイクロ電子てんびんセミナー(座学)(12月14日、キャンパス・イノベーションセンター東京)を開催したほか、会報14号を発行した。

2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会

運営委員会を5回開催した。研究会開催数:6回(第318～323回、特別講演会、Separation Sciences 2012講演、JASIS コンファレンスの講習会開催、分析年会での講演会を含む)。又、第18回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会(8月1～3日麻布大学)を開催した。日中韓シンポジウム(上海)の事務局を務めた。ガスクロマトグラフィー創設60周年記念事業としてアーカイブのWEB掲載をすすめている。

3) 高分子分析研究懇談会

開催数:例会5回(第362～366回)。又、第45回・第46回高分子分析技術講習会(工学院大学新宿校舎)「第17回高分子分析討論会」を(10月25日～26日、名古屋中小企業振興会館(吹上ホール))開催した。

4) X線分析研究懇談会

開催数:例会3回(第243～245回)。又、「X線分析の進歩」第43集をアグネ技術センターより出版したほか、第18回X線分析講習会「蛍光X線分析の実際」を(7月9～11日、東京理科大学神楽坂校舎)、第48回X線分析討論会(10月31～11月2日、名古屋大学東山キャンパス)を主催した。

5) 分析試薬研究懇談会

開催数:1回。第61年会において、分析試薬研究懇談会(9月20日、金沢大学、講演2件)を開催し、第3回生涯分析談話会講演会の共催を行った。また、第8回ホスト・ゲスト化学シンポジウムの共催を行った。

6) 溶液界面研究懇談会

開催数:1回。金沢大学で開催された第61年会の「界面・微粒子」セッションの中で、2件の講演(9月20日)を行った。また、分析化学会年会における界面に関するセッションの維持を図った。研究懇談会の活動に関するメール審議を行い、次年度の懇談会運営体制を決定した。

7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会

開催数:11回(第249～260回)。又、第12回特別講演会・見学会(5月11日、キリンビール横浜工場)、第13回特別講演会・見学会(11月13日、花王㈱すみだ事業

場)、第17回LCテクノプラザ(2011年1月26～27日、横浜情報文化センター)、第18回LCテクノプラザ(1月24～25日、横浜情報文化センター)、LC-DAYS 2012(11月29～30日、館山寺サゴロイoyalホテル)を開催した。このほか、関東支部主催第53回機器分析講習会の第2コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」(7月25～27日)、及びJAIMA コンファレンス HPLC 講習会(9月5日、幕張メッセ)を担当し、Separation Sciences 2012(7月19～20日、北とびあ)の幹事研究懇談会として本会の3研究懇談会と共催し、第7回千葉県分析化学交流会(1月28日、日本大学薬学部)に協賛した。

8) 化学センサー研究懇談会

研究懇談会講演会(9月19日、日本分析化学会第61年会、金澤大学にて講演2件)を開催した。また、「センサ EXPO」のバイオセンサセッション(10月12日、東京ビッグサイトにて講演1件)を行った。

9) 電気泳動分析研究懇談会

懇談会講演会を1回(9月年会時、金沢)開催したほか、第32回キャピラリー電気泳動シンポジウム(11月、大阪府池田市)を開催した。また本研究懇談会編の「キャピラリー電気泳動」の出版計画を進めた。

10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会

Separation Science 2012(7月19～20日、北とびあ、東京)、イオンクロマトグラフィー講演会(9月19日、分析化学会第61年会と共催、金沢大学)、中日韓分析化学シンポジウム(10月16日～10月18日、GC、HPLC、FIA各研究懇談会と共催、中国・上海)、The 6th Asia-Pacific Symposium on Ion Analysis(第6回日中韓合同イオン分析シンポジウム)(11月26日～28日、共催、インドネシア・パダン)、第29回イオンクロマトグラフィー討論会(12月6日～7日、岡山理大)開催、運営委員会を計3回開催(6月、9月、12月)した。講習会を(JAIMA セミナーV「これであなたも専門家IC編」、9月6日、幕張メッセ)開催した。またイオンクロマトグラフィー分析士初段認証試験の実施(2013年1月27日)に協力した。「分析化学教育用ビデオ」の内容改訂(DVD化)の取り組みを進めた。

11) フローインジェクション分析研究懇談会

講演会を4回(Flow analysis(9月23～28日、ギリシャ)、Separation Sciences 2012(7月19・20日、北とびあ)、年会開催時(9月14日、名古屋大)、第50回FIA講演会(11月16日、徳島大)、講習会を1回(JAIMA セミナーVII「これであなたも専門家一流れ分析編」、9月7日、幕張メッセ)開催したほか、Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行(29巻)のための編集委員会を1回(5月19日、鹿児島市)、また褒賞委員会を1回(9月19日、金沢大)開催した。

12) 環境分析研究懇談会

講演会を3回(第20回を6月29日レアメタル分析研究懇談会と共同主催で、第21回を9月19日第61年会において、第22回を11月28日工学院大学において開催)開催に運営委員会を1回開催した。メーリングリストにおいて関連情報を会員各位に適宜提供した。また、2012 CJK Symposium on Analytical Chemistry (6th Shanghai International Symposium on Analytical Chemistry)の一部として開催、上海、中国(10月16～18日)の日本側懇談会メンバーに参加した。

13) 表示・起源分析技術研究懇談会

講演会を2回(7月4日ティアラこうとう、11月28日大田区産業プラザPiO)を開催した。運営委員会を2回開催した。

14) レアメタル分析研究懇談会

環境分析研究懇談会との共同主催による講演会を6月29日に東京理科大学森戸会館にて開催、9月19日に講演会並びに運営委員会を第61年会会場(金沢大学)にて開催した。

15) 熱分析研究懇談会

講演会を1回(1月11日に大田区産業プラザPiOにお

いて)開催した。また IUMRS-ICEM 2012 (9月23~28日, パシフィコ横浜)のセッション D-2「Analytical and Assessment Methods in Materials and Environmental Technologies)に協力した。JASIS2012 (旧分析展)における講習会, JAIMA セミナー 6「これであなたも専門家-熱分析編」を開催した。

16) 溶液反応化学研究懇談会

第1回講演会(主題講演)並びに第1回運営委員会を5月19日の第72回分析化学討論会(鹿児島大学)で, 第2回講演会並びに第2回運営委員会を第61年会(金沢大学)で開催した。

[支部]

【北海道支部】

支部活動を次のように行った。

支 部 長 森田みゆき
副支部長 黒澤 隆夫 宇都 正幸
参 与 菅浦 明己 石本 裕 小澤 幸男
鍵政 秀一 片山 則昭 草野 祥昌 黒田 一寛
佐々木陽一 多賀 光彦 杉田 隆通 後藤 良一
中野 益男 那須 淑子 乗木新一郎 長谷部 清
藤間 貞彦 松永 勝彦 松久 喜一 三浦 敏明
横澤 龍朗 吉田 仁志
監 査 伊藤八十男 大澤 雅俊
庶務幹事 叶 深 蠣崎 侑司
会計幹事 石田 晃彦 佐々木胤則
幹 事 池田 俊朗 板橋 豊 伊藤 純一
伊藤 慎二 上野 貢生 大津 直史 片岡 正光
加藤 昌子 菅 真彦 喜多村 昇 工藤 英博
久万 健志 蔵崎 正明 齋藤 健 坂入 正敏
佐藤 正知 佐藤千鶴子 嶋津 克明 神 和夫
鈴木 智宏 高木 英利 高橋 徹 高橋 英明
田中 俊逸 田邊 博義 谷 博文 田原るり子
千葉 真弘 坪井 泰之 敦賀 昇 富田 恵一
豊田 和弘 中田 耕 中谷 暢丈 永洞真一郎
中村 博 西村 一彦 平間 祐志 古月 文志
福嶋 正巳 藤井 清志 藤吉 亮子 古崎 睦
松井 宏 南 尚嗣 諸角 達也 山田 幸司
吉田 登 吉村 昭毅

2. 研究発表会

- 1) 夏季研究発表会(共催): 8月4日, 旭川工業高等専門学校で開催, 一般講演120件, 特別講演2件, 懇親会を行った(参加者187名)。
- 2) 化学教育研究協議会(共催): 11月10日, 北大院環境科学研究院で開催, 講演1件, 分析化学若手教育研究者による話題提供, 自由討論, 懇親会を行った(参加者56名)。
- 3) 冬季研究発表会(共催): 1月29~30日, 北大学術交流会館で開催, 研究発表188件, 特別講演1件, 懇親会を行った(参加者43名)。

3. セミナー

- 1) 第28回分析化学緑陰セミナー: 6月30日~7月1日, ビューサイドホテル雪の屋(旭川市)にて開催, 講演5件, ポスター講演15件, 懇親会を行った(参加者55名)。
- 2) 特別公開シンポジウム(公開セミナー): 9月7日, 苫小牧工業高等専門学校で開催, 講演2件(参加者77名)。
- 3) 第48回氷雪セミナー: 1月12-13日, かんぼの宿小樽で開催, 講演4件, 懇親会を行った(参加者25名)。

【東北支部】

1. 役員の選任

支 部 長 尾形 健明
次期支部長 我妻 和明
副支部長 大江 知行 佐藤 健二
参 与 秋葉 健一 阿部 重喜 石井 一
宇野原信行 大関 邦夫 大類 洋 荻野 博
長 哲郎 小田嶋次勝 後藤 順一 佐藤 允美
鈴木 信男 玉木 洋一 南原 利夫 広川吉之助
目黒 熙 山崎 慎一 四ツ柳隆夫

監 事 糠塚いそし 福島美智子
庶務幹事 水口 仁志
会計幹事 珠久 仁
在仙常任幹事 赤坂 和昭 芦野 哲也 壹岐 伸彦
井上 亮 大野 賢一 柏倉 俊介 後藤 貴章
猿渡 英之 塩田 浩 鶴岡 博章 西澤 精一
橋本 幹雄 平野 愛弓 星 友典 山口 英一
山下 幸和 和久井喜人
地区常任幹事 岩田 吉弘 遠藤 昌敏 押手 茂克
菊地 洋一 北川 文彦 高貝 慶隆 照井 教文
中川 公一 中村 重人 平山 和雄 藤原 一彦
細野 長悦 渡辺 忠一
幹 事 安齊 順一 伊藤 徹二 小川 信明
上條 利夫 彼谷 邦光 北爪 英一 斎藤 紘一
佐藤 雄介 志村 清仁 鈴木 敏重 寺前 紀夫
西澤 松彦 福村 裕史 星野 仁 末永 智一
松永 英之 眞野 成康 村本 光二

2. 研究発表会

- 1) みちのく分析科学シンポジウム2012(主催): 7月21日, 山形大学工学部で開催, 依頼講演2件, ポスター講演50件を行い, 94名の参加があった。
- 2) 平成24年度化学系学協会東北大会(共催): 9月15~16日, 秋田大学手形キャンパスで開催。環境と分析化学のセッションにて「第8回環境と分析化学のセミナー」を開催した。
- 3) Sendai Symposium on Analytical Sciences 2012(SSAS2012)(主催): 11月9~10日, 東北大学片平キャンパスにて開催, Plenary講演2件, Keynote講演8件, Invited講演15件, 大学院生によるOral講演2件, ポスター講演28件を行い, 103名の参加があった。
3. セミナー
 - 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー2012(主催): 3月17日, 東北大学川内北キャンパスにて開催, 招待講演1件を行い, 32名の参加があった。
 - 2) 第29回無機・分析化学コロキウム(共催): 6月8~9日, 東北大学川渡共同セミナーセンターにて開催, 招待講演4件, 依頼講演6件を行い, 102名の参加があった。
 - 3) 平成24年東日本分析若手交流会(共催): 6月29~30日, 茨城県いこいの村酒沼にて開催, 依頼講演6件, ポスター講演34件を行い, 111名の参加があった。
 - 4) 第14回機能構造と分析化学シンポジウム(主催): 7月27日, 東北大学理学部にて開催, 招待講演

【関東支部】

1. 役員の選任

支 部 長 前田 瑞夫
副支部長 岡田 哲男(次期支部長) 丹羽 修
川田 哲 望月 直樹
参 与 赤岩 英夫 今枝 一男 梅澤 喜夫
小熊 幸一 大橋弘三郎 楠 文代 合志 陽一
酒井 馨 澤田 清 渋川 雅美 菅原 正雄
杉谷 嘉則 高田 芳矩 高村喜代子 田中 龍彦
角田 欣一 中澤 裕之 中村 洋 二瓶 好正
平井 昭司 不破敬一郎 藤原 鎮男 藤原祺多夫
保母 敏行 矢野 良子 山崎 素直 山根 兵
綿拔 邦彦

監 事 鈴木 康志 野呂 純二
常任幹事 朝本 紘充 荒井 健介 伊藤 里恵
岩佐 真行 植田 郁生 梅香 明子 江川千佳司
江坂 文孝 大石 昌弘 沖野 晃俊 金橋 康二
小谷 明 亀田 直弘 岸岡 真也 佐藤 守俊
敷野 修 清水 克敏 鈴木 康弘 高坂 正博
谷合 哲行 中川 沙織 中嶋 秀 西垣 敦子
橋本 剛 林 英男 本田 俊哉 松崎 彩子
支部幹事 青木 寛 小沢 洋 佐藤 香枝
塚原 剛彦 鹿籠 康行 中西 淳 野村 文子
野本 知理 安田 純子 山口 央 吉本敬太郎

2. 研究発表会

第26回新潟地区部会研究発表会: 9月14日, 新潟テルサ

で開催、特別講演2件、一般講演6件、情報交換会を行った。

3. 講習会

- 1) 第53回機器分析講習会：第1コース、6月28～29日、第2コース、7月25～27日、第3コース、11月2日、エスアイアイ・ナノテクノロジー、慶應義塾大学、島津製作所で開催した。
- 2) 第20・21回分析化学基礎実習講座：8月29～31日、東京理科大学、2月7～8日、パーキンエルマージャパンで各々開催した。

4. 講演会

- 1) 第9回茨城地区分析技術交流会：11月22日、いばらぎ量子ビーム研究センターにおいて開催、特別講演3件及びポスターセッションを行った。

5. セミナー

- 1) 平成24年度分析化学会関東支部若手交流会は、東北支部若手の会と共同主催で東日本分析若手交流会を：6月29日～6月30日、いこいの村酒沼で開催した。
- 2) 新世紀賞講演会・新年交流会：1月10日、秋葉原ダイビル18階（㈱日立製作所において開催。

6. 各県分析化学交流会

- 1) 山梨県分析化学交流会：10月19日、(株)山梨県環境科学検査センターにて開催
- 2) 第8回千葉県分析化学交流会：12月12日、千葉大学自然科学系総合研究棟において開催

7. 支部ニュースの発行

関東支部ニュース第23号を発行した。

【中部支部】

1. 役員を選任

支 部 長	樋上 照男				
次期支部長	大谷 肇				
副支部長	井村 久則	小泉 貞之			
顧 問	石井 大道	板谷 芳京	河口 廣司		
	木羽 敏泰	小辻 奎也	佐々木与志実	鈴木 正巳	
	田中 元治	栢植 新	寺田喜久雄	野村 俊明	
	野村 昇	本浄 高治	三輪 智夫	村田 旭	
	山寺 秀雄				
参 与	上田 一正	上田 穰一	太田 清久		
	酒井 忠雄	田口 茂	永長 幸雄	中村 俊夫	
	原 稔	平出 正孝	舟橋 重信	山田 真吉	
	山田 碩道	吉村忠与志			
監 事	宇野 文二	北川 邦行			
庶務幹事	巽 広輔				
会計幹事	梅村 知也				
常任幹事	飯國 良規	大橋 芳明	小谷 明		
	加地 範匡	勝又 英之	加藤 亮	熊澤 茂則	
	高山 勝己	遠田 浩司	リムリーワ		
幹 事	石田 康行	一ノ木 進	植松 宏平		
	江坂 幸宏	太田 一徳	岡 正人	小澤 秀明	
	加賀谷重浩	笠原 昌俊	金子 聡		
	金子美智代	儀賀 義勝	北出 和久	栗原 誠	
	小玉 修嗣	小森 康生	小松 優	小山 敏之	
	齋藤 徹	篠原 直行	妹尾 健吾	高木 秀夫	
	高橋 透	竹内 豊英	栢植 明	丹羽 啓誌	
	服部 寛和	坂東 篤	肥田 宗政	深谷 秀貴	
	藤本 忠蔵	古米 一博	細川 智司	牧 輝弥	
	元森 涉	森田 成昭	山形 茂	湯地 昭夫	

2. 研究発表会

- 1) 第43回中部化学関係学協会支部連合秋季大会：11月10～11日、名古屋工業大学で開催、特別討論会講演6件（招待講演2件、依頼講演4件）、一般講演28件を行った（参加者約50名）。

3. 講演会

- 1) 北陸地区講演会：7月13日、福井大学文京キャンパスで開催、講演4件を行った（参加者86名）。
- 2) 三重地区講演会：9月28日、三重大学社会連携研究センター新産業創成研究拠点で開催、講演3件を行った（参加者30名）。
- 3) 愛知地区講演会：11月30日、「知の拠点」あいち産

業科学技術総合センターで開催、講演2件および施設見学を行った（参加者18名）。

- 4) 訪日学者講演会：10月29日、愛知工業大学総合技術研究所で開催、講演1件を行った（参加者25名）。

4. 講習会

- 1) 第22回基礎及び最新の分析化学講習会：10月11～12日、名古屋大学（1日目）および中部大学（2日目）で開催、講義9件と見学・実演3件を行った（参加者78名）。

5. セミナー

- 1) 第31回分析化学中部夏期セミナー：8月31日～9月1日、信州大学理学部、みやま荘で開催、招待講演2件、依頼講演3件、新製品紹介講演2件、ポスター発表49件を行った（参加者91名）。
- 2) 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第12回高山フォーラム：11月16～17日、高山市図書館、お宿山久で開催、討論、ポスター発表65件を行った（参加者67名）。

【近畿支部】

1. 役員を選任

支 部 長	藤田 芳一				
次期支部長	加納 健司				
前支部長	萩中 淳				
副支部長	辻 幸一	茶山 健二			
監 事	澁谷 康彦	荒川 隆一			
庶務幹事	前田 初男	中口 譲			
会計幹事	岡本 昌彦	吉田 裕美			
参 与	池田 重良	池田 篤治	池田 昌彦		
	市村 彰男	宇野 豊三	大井 尚文	岡 正太郎	
	小川禎一郎	垣内 隆	木原 壯林	木村 優	
	日下 譲	小島 次雄	佐伯 正夫	佐藤 昌憲	
	庄野 利之	千田 貢	田中 信男	田中 久	
	田中 稔	千熊 正彦	辻 治雄	寺部 茂	
	中川 照眞	中原 武利	原 正	藤永太一郎	
	藤原 英明	穂積啓一郎	堀 智孝	増田 嘉孝	
	松井 正和	松下 隆之	八尾 俊男	渡辺 巖	
	渡會 仁				
常任幹事	石濱 泰	岸本 芳久	紀本 岳志		
	末吉 健志	諏訪 雅頼	竹田さほり	壺井 基裕	
	中林 安雄	西野 智昭	野村 聡	長谷川 健	
	藤嶽 暢英	細矢 憲	堀田 弘樹	村松 康司	
	安川 智之	山口 敬子	山本 雅博		
幹 事	小豆畑利夫	足立 吟也	池川 繁男		
	石井 裕子	石田 正登	則子 岩月	聡史	
	岩本 仁志	上田 啓太	上原 章寛	宇田 亮子	
	梅谷 重夫	大石 晴樹	大内 幹雄	大塚 利行	
	大塚 浩二	岡林 義人	尾崎 幸洋	尾関 徹	
	小堤 和彦	小山 宗孝	掛樋 一晃	糟野 潤	
	柄谷 肇	河合 潤	川崎 英也	河田 聡	
	河野 宏彰	川元 達彦	菊地 和也	喜多 純一	
	北出 達也	木村 恵一	久保埜公二	熊谷 哲	
	黒田 義弘	小池 亮	小畑 俊嗣	小林 典裕	
	齊藤 惠逸	坂本 英文	佐々木隆之	椎木 弘	
	下山 昌彦	白井 理	白石 晴樹	杉原 崇康	
	杉山 雅人	杉山 裕子	須志田一義	鈴江 崇彦	
	鈴木 茂生	宗林 由樹	高木 達也	高橋 弘樹	
	谷口 一雄	民谷 栄一	塚越 一彦	塚原 敬一	
	塚原 聡	都築 英明	土渕 毅	角井 伸次	
	津村ゆかり	寺田 靖子	土井 光暢	土江 秀和	
	遠山 恵夫	床波 志保	中井 亨	永井 秀典	
	長岡 勉	中島 陽一	中田 靖	中西 和樹	
	中原 佳夫	中山 茂吉	西 直哉	野崎 敏則	
	濱地 格	張野 宏也	東 昇	久本 秀明	
	福士 恵一	藤居 義和	藤森 啓一	藤原 学	
	前田 耕治	前田 拓巳	松尾 修司	松岡 康子	
	松田十四夫	松村 竹子	松本 明弘	丸尾 雅啓	
	三木功次郎	水谷 文雄	三田村邦子	三戸彩絵子	
	向井 浩	村井 重夫	村上 正裕	森内 隆代	
	森田 尚文	守安 正恭	矢坂 裕太	矢嶋 摂子	
	山内 雄二	山垣 亮	山田 悦	山田 隆	

- 山田 秀和 山田 裕之 弓削 是貴 横井 邦彦
脇田 慎一
- 講演会
 - 近畿分析技術研究懇話会第15回講演会：3月9日，大阪科学技術センターで開催，講演2件を行った。
 - 第1回支部講演会：4月13日，大阪科学技術センターで開催，講演3件を行った。
 - 第32回石橋雅義先生記念講演会（共催）：4月28日，京都大学百周年時計台記念館で開催，講演2件を行った。
 - 第2回支部講演会：12月7日，大阪科学技術センターで開催，講演2件を行った。
 - 第8回近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会（共催）：1月11日，大阪科学技術センターで開催，講演2件を行った。
 - 講習会
 - 第1回基礎分析化学講習会：6月8日，(株)堀場製作所で開催，講義，実習を行った（受講者22名）。
 - 第59回機器による分析化学講習会：7月19, 20日，甲南大学工学部で開催，実習7件，共通講義1件を行った（受講者48名）。
 - 第2回基礎分析化学実習：11月13日，兵庫県立大学高度産業科学技術研究所で開催，講義，実習を行った（受講者4名）。
 - 第3回基礎分析化学実習：12月20日，(株)堀場製作所で開催，講義，実習を行った（受講者11名）。
 - 第4回基礎分析化学実習：12月21日，けいはんなプラザで開催，講義，実習を行った（受講者11名）。
 - セミナー
 - 第1回提案公募型セミナー：2月14日，けいはんなプラザで開催，講演4件を行った（受講者37名）。
 - 第6回平成夏期セミナー：8月3, 4日，グリーンビレッジ交野で開催，講演4件，ポスターセッション，を行った（参加者73名）。
 - 支部ニュースを3回発行した。

【中国四国支部】

1. 役員の選任

支部長・事務局長	藤原 照文
次期支部長	北條 正司
副支部長	伊藤 一明 徳永 裕司
支部参与	池田 早苗 今井 嘉彦 岩知道 正 大島 光子 小倉興太郎 木ト 光夫 木曾 義之 熊丸 尚宏 下村 滋 出口 正一 中野 恵文 林 康久 平田 静子 真鍋 敬 宮田 晴夫 本仲 純子 本水 昌二 森田 秀芳 山崎 恒博
支部監事	廣川 健 藤原 薫
庶務幹事	浅野 比 石坂 昌司 岡本 泰明
山本 孝	
会計幹事	竹田 一彦
常任幹事	朝日 剛 石井 孝浩 泉 雅典
	今井 昭二 大衆 正則 大中道俊亮 奥村 稔
	春日 弘夫 勝 孝 金田 隆 紙谷 浩之
	北出 哲朗 島田 健 高柳 俊夫 田頭 昭二
	竹味 弘勝 田中 一彦 田中 俊行 田中 秀治
	谷脇 常水 中山 雅晴 名郷 洋信 西 博行
	升島 努 森谷 好光 山岡 和則 横山 崇
	吉屋 晴夫 若林 茂夫 和田 修治
支部幹事	新名 龍彦 受田 浩之 尾上 晃一
	片岡 洋行 川口 浩 川村 邦男 佐竹 弘
	島崎 洋次 清家 泰 善木 道雄 谷村 俊史
	千葉 潔 鶴田 泰人 中田 健一 永阪 文惣
	西本 潤 服部喜久男 早川慎二郎 樋口 浩一
	樋口 徹憲 藤原 勇 宝来佐和子 前川 達治
	村上 良子 森本 稔 門木 秀幸 藪谷 智規
	山崎 重雄 山下 浩 横田 宣夫 吉岡 徹
	吉田 賢司 吉本 誠

2. 研究発表会

- 第79回日本分析化学会有機微量分析研究懇話会・第89回計測自動制御学会化学量計測部会・第29回合同シ

ンポジウム（協賛）：6月7～9日，（鳥取市）にて開催。招待講演2件，一般講演10件，ポスター発表18件を行った。（参加者102名，技術交流会88名）。

- 第50回フローインジェクション分析講演会（共催）：11月16日，徳島大学薬学部（徳島市）にて開催した。特別講演1件，招待講演2件，一般講演17件，ポスター発表19件を行った。（参加者64名，懇親会51名）。
 - 第29回イオンクロマトグラフィー討論会（共催）：12月6・7日，岡山理科大学50周年記念館（岡山市）にて開催。招待講演4件，受賞講演2件，一般講演9件，ポスター発表13件を行った。（参加者65名）。
- ##### 3. 講演会
- 中国四国支部分析化学講演会：3月8日，広島大学中央図書館ライブラリーホール（東広島市）で開催。講演2件および情報交換会を行った（参加者37名）。
 - 岡山地区講演会（岡山地区分析技術懇話会と共催）：3月6日，岡山大学理学部で開催。講演1件，研究発表11件および情報交換会を行った。（参加者37名）。
 - 山口地区講演会：12月4日，山口大学理学部で開催。講演1件および懇親会を行った。（参加者64名）。
 - 周南地区講演会（周南地区コンビナート分析研究会と共催）：12月7日，徳山積水工業（周南市）で開催。講演3件および懇親会を行った。（参加者51名）。
 - 徳島地区講演会（徳島化学工学懇話会と共催）：12月7日，徳島大学総合科学部（徳島市）で開催。講演2件，研究発表3件および懇親会を行った。（参加者59名）。
 - 高知地区講演会（高知地区分析技術懇話会と共催）：12月8日，高知大学朝倉キャンパス総合研究棟（高知市）で開催。講演2件および情報交換会を行った。（参加者約40名）。
 - 島根地区講演会（島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催）：1月27日，島根大学総合理工学部（松江市）で開催。講演5件および情報交換会を行った。（参加者31名）。
 - 愛媛地区講演会（愛媛地区分析技術懇話会と共催）2月12日，愛媛大学総合情報メディアセンター（松山市）で開催。講演2件を行った。（参加者25名）。
 - 広島地区講演会（広島地区分析技術研究会と共催）：2月26日，広島大学学生会館で開催。講演3件，研究発表2件および情報交換会を行った。（参加者20名）。
- ##### 4. 講習会
- 第49回分析化学講習会：8月2・3日，徳島大学常三島キャンパス（徳島市）で開催。「グリーン・イノベーションとライフ・イノベーションへのヒント」の主題で，特別講演2件，特別講義1件，セミナー4件，実習13種類，ショート実習2件，機器相談会および情報交流セミナー・情報交換会を行った。（参加75件）。
- ##### 5. セミナー
- 第18回中国四国支部分析化学若手セミナー：8月31日・9月1日，山口県セミナーパーク（山口市）において開催。依頼講演1件，口頭発表5件，ポスター発表21件，レクリエーションおよび懇親会を行った。（参加者35名）。
- #### 【九州支部】
- ##### 1. 役員の選任
- | | |
|-------|------------------------|
| 支部長 | 甲斐 雅亮 |
| 次期支部長 | 原田 明 |
| 副支部長 | 浜瀬 健司 澤津橋徹哉 |
| 参与 | 飯盛喜代春 石黒 慎一 岩崎 正武 |
| | 大倉 洋甫 大森 保 箴島 豊 鎌田 薩男 |
| | 合屋周次郎 小林 宏 財津 潔 竹田津富次 |
| | 田端 正明 出口 俊雄 増田 義人 |
| 監査 | 片山 佳樹 池上 天 |
| 庶務幹事 | 梶島 力 |
| 会計幹事 | 柴田 孝之 |
| 常任幹事 | 井上 高教 宇都宮 聡 黒木 広明 |
| | 下田 満哉 竹中 繁織 戸田 敬 富安 卓滋 |
| | 中山 守雄 新留 康郎 野口 英行 原田 明 |
| | 森山 慶一 吉田 秀幸 |
| 幹事 | 新垣 雄光 安藤 功 井倉 則之 |

平成 25 年度事業計画書

(平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 石岡 寿雄 | 伊藤 潔 | 井原 敏博 | 石川 洋哉 |
| 今坂藤太郎 | 今任 稔彦 | 伊与田憲雄 | 岩永 達人 |
| 内田 耕次 | 内海 英雄 | 大浦 博樹 | 大木 章 |
| 王子田彰夫 | 大島 達也 | 大渡 啓介 | 大庭 義史 |
| 岡上 吉広 | 加藤 祐子 | 河津 博文 | 神崎 亮 |
| 岸川 直哉 | 喜納 兼勇 | 木下 将和 | 蔵脇 淳一 |
| 栗崎 敏 | 黒田 直敬 | 呉 行正 | 古賀 実 |
| 児玉谷 仁 | 財津 慎一 | 境 幸夫 | 笹木 圭子 |
| 佐藤 博 | 塩路 幸生 | 城 昭典 | 清 悦雄 |
| 宗 伸明 | 高館 明 | 高橋 浩司 | 高椋 利幸 |
| 田口 博幸 | 竹原 公 | 田嶋 晴彦 | 立木 武 |
| 田中 一平 | 谷口 功 | 土田 博 | 長崎 典之 |
| 中島憲一郎 | 中嶋 直敏 | 中島 俊男 | 中島 常憲 |
| 中園 学 | 中武 貞文 | 中野 幸二 | 能田 均 |
| 野間 誠司 | 馬場 由成 | 原口 浩一 | 原田 雅章 |
| 肥後 盛秀 | 平尾 良光 | 前田 明広 | 増田 寿伸 |
| 又吉 直子 | 松井 利郎 | 松岡 信明 | 松田 賢士 |
| 松田 直樹 | 松野 康二 | 松本 清 | 満尾 良弘 |
| 満塩 勝 | 宮島 徹 | 村田 正治 | 森 健 |
| 安田みどり | 柳 雅之 | 山口 敏男 | 山口 英敬 |
| 山口 政俊 | 山田 淳 | 横下 正彦 | 横山 拓史 |
| 吉塚 和治 | 吉田 亨次 | 吉田 烈 | 吉田 祐一 |
| 吉留 俊史 | 吉村 和久 | 脇田 久伸 | 和田 光弘 |
- 研究発表会
 - 第 49 回化学関連支部合同九州大会 (共催) : 7 月 9 日, 北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表 5 件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。
 - 講演会
 - 第 25 回九州分析化学若手の会・春の講演会 (主催) : 5 月 26 日, 福岡大学七隈キャンパスで開催。
 - 九州支部講演会・見学会 (主催) : 11 月 26 日, 長崎大学薬学部並びに三菱重工株式会社長崎研究所で開催。
 - 第 25 回化学とマイクロ・ナノシステム研究会 (共催) : 5 月 17 日～18 日, 崇城大学池田キャンパスで開催。
 - 2012 年日本化学会西日本大会 (共催) : 11 月 10 日～11 日, 佐賀大学本庄キャンパスで開催。
 - 講習会
 - 第 53 回分析化学講習会 (主催) : 8 月 8～10 日, 九州大学伊都キャンパスで開催。
 - セミナー
 - 第 30 回九州分析化学若手の会・夏季セミナー (主催) : 7 月 27 日～28 日, 休暇村指宿で開催。
 - 支部ニュース
支部ニュース第 26 号 (7 月) 及び第 27 号 (2 月) を発行。

①通常総会の開催 (定款第 17 条)

第 2 回定時総会を下記のとおり行う。

日時 平成 25 年 4 月 19 日 (金) 11 時より

場所 五反田文化会館 (東京都品川区西五反田 1-32-2)

参加予定者数 150 人。

②会誌, 研究報告及び資料の刊行 (定款第 5 条(1))

• 学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2013 年第 3 号～2014 年第 2 号 毎月 1 回, 5 日に発行 (各号 A4 判, 130 ページ)。発行部数 7000

• 和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第 62 巻第 3 号～第 63 巻第 2 号を毎月 1 回, 5 日に発行 (各号 A4 判, 72 ページ)。発行部数 2200

• 英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行する。

Vol. 29, No. 3～Vol. 30, No. 2 を毎月 1 回, 10 日に発行 (各号 A4 判, 136 ページ)。発行部数 750

• 英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行する。

Vol. 29, No. 3～Vol. 30, No. 2 を毎月 1 回発行 (web のみによる無料公開)。

• メールマガジンを発行する。

• 「試料分析化学講座」(丸善), 「分析士試験問題の解説」(本会) 等の書籍を出版する。

③講演会, 講習会及び研究会の開催 (定款第 5 条(2))

各支部並びに懇談会が主催するものは別に記載する。

[研究発表会]

• 第 73 回分析化学討論会を行う。

日時 平成 25 年 5 月 18 日 (土)・19 日 (日)

場所 北海道大学水産学部 (函館市港町 3-1-1) 参加予定者数 800, 演題数 500

• Separation Sciences 2013 (安心安全と快適を支える分離と検出の科学) を行う。

日時 平成 25 年 8 月 1 日 (木)・2 日 (金)

場所 工学院大学新宿キャンパス (東京都新宿区西新宿 1-24-2) 参加予定者数 200, 演題数 100

• 国際会議 ASIANALYSIS XII を下記のとおり行う。

日時 平成 25 年 8 月 22～24 日

場所 九州大学馬出キャンパス (福岡市東区馬出 3-1-1) 参加予定者数 400, 演題数 200

• 第 62 年会を下記のとおり行う。

日時 平成 25 年 9 月 10 日 (火)～12 日 (木)

場所 近畿大学 (東大阪市小若江 3-4-1) 参加予定者数 1300 人 演題数 800

[講習会] 参加予定者数: 合計 500 名

予定テーマ

水中の微量金属成分分析技術セミナー

金属分析技術セミナー

ダイオキシン類分析技術セミナー

セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー

土壌分析技術セミナー

プラスチック中有害金属成分の化学分析技術セミナー

分析化学基礎セミナー

分析化学における不確かさ研修プログラムセミナー

その他

④調査, 研究及び建議 (定款第 5 条(3))

[JIS]

JIS Z 2615 (金属材料の炭素定量方法通則) と JIS Z 2616 (金属材料の硫黄定量方法通則) の改正を行う (平成 25 年度前期日本規格協会の公募による)。

[技能試験] 参加予定試験所数: 合計 800 社

ISO/IEC17043 に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

- ダイオキシン類成分分析
- プラスチック中有害金属成分の分析
- 食品成分の分析
- トレーサビリティと不確かさの理解度を確保する分析
- その他

[標準物質]

これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継続して実施する。また、在庫切れ品の補給と放射能関係の新規標準物質の開発を行い社会への供給活動を行う。

[関連団体との協力]

- 関連学協会並びに団体の講演会、講習会及び研究会の開催を共催又は協賛する。
- 学会協議協力団体としての活動を行う。
- グリーンサステイナブルケミストリーネットワークの活動に協力する。
- 化学連合参加団体としての活動を行う。
- 関連団体からの要請に基づき委員を派遣して JIS/ISO などの各種規格の立案等に協力する。

[教育用 DVD]

- 現在頒布中の教育用ビデオを発展させた DVD 教材の開発のために作業を行う。

⑤研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第 5 条(4)）

- 2013 年度学会賞、学会功労賞、技術功績賞、奨励賞、有功賞、「分析化学」論文賞並びに先端分析技術賞を下記のとおり表彰する。
 - 学会賞（3 名以内）
 - 学会功労賞（5 名以内）
 - 技術功績賞（3 名以内）
 - 奨励賞（5 名以内）
 - 有功賞（50 名程度）
 - 2012 年「分析化学」論文賞（1 名）
 - 先端分析技術賞（3 名以内）
- 他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者として推薦する。

⑥その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条(5)）

- 分析士認証試験を次のとおり行う。
 - 液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段～四段の各段位
 - LC/MS 分析士認証試験 初段～三段の各段位
 - イオンクロマトグラフィー分析士 初段
- 分析士会を設置して講演会等の活動を行う。
- アジアの分析化学者との連携をはかるために Asian Analytical Chemistry Network のホームページを運用する。
- 本会の活動並びに斯術・技術の重要性をホームページ、各種展示、冊子の発行、記者会見、展示などを通じて広報する。
- 若手交流会の活動を次のとおり行う。
 - 73 回分析化学討論会（5 月、北海道大学）および第 62 年会（9 月、近畿大学）等において若手企画シンポジウム・若手ポスターセッションを開催する。また、各支部若手の会主催事業を支援する。
- 各研究懇談会の活動を次のとおり行う。

1) 有機微量分析研究懇談会

委員会を 2 回、有機微量分析研究懇談会創立 60 周年記念大会シンポジウム・第 80 回有機微量分析研究懇談会（計測自動制御学会・化学量計測部会と共催、日本分析化学会、日本化学会、日本薬学会協賛）、5・6 月、岐阜市（長良川国際会議場）、講演会（第 62 年会会期中）、第 3 回マイクロ電子天びん技術研修会、および第 2 回マイクロ電子天びんセミナー（座学）を開催するほか、会報 14 号（2013 年 3 月）を発行、およびシンポジウムの講演要旨集を電子媒体に変換した DVD（2013 年 9 月）を作成し、会員に配布を予定する。

2) ガスクロマトグラフィー研究懇談会

例会を数回、見学会、特別講演会、講習会（実習付）

を開催する。例会の中で基礎講座講習を行う。地方での研究会活動を行う。Separation Sciences 2013 に協力する。JASIS コンファレンスで講習会を実施する。ガスクロマトグラフィー創設 60 周年事業として日中韓シンポジウム、記念講演会を開催する。講習会用テキストを整備する。懇談会 50 年の過去ログをホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催する。

3) 高分子分析研究懇談会

例会を 6 回、高分子分析技術講習会を 2 回、第 18 回高分子分析討論会の開催。

4) X 線分析研究懇談会

例会を数回、第 49 回 X 線分析討論会、X 線分析講習会を開催するほか、「X 線分析の進歩」を出版する。

5) 分析試薬研究懇談会

第 62 年会での講演会と幹事会および、第 10 回ホスト・ゲスト化学シンポジウム（共催：和歌山、5 月）での招待講演を開催する。今季より委員長を片山教授（九大）に交代する。

6) 溶液界面研究懇談会

講演会、懇談会を各 1 回（第 62 年会会期中）開催するほか、通信による情報交換を行う。また、年会において界面に関するセッションを継続して開催できるよう、年会実行委員会への働きかけを行う。

7) 液体クロマトグラフィー研究懇談会

運営委員会を 11 回、例会を 12 回（うち 1 回は年会時に開催）、液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を 2 回、第 19 回 LC テクノプラザ、LC-DAYS 2013 を開催する。Separation Sciences 2013 を他の分離科学関係研究懇談会と協力して開催し、関東支部機器分析講習会第 2 コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」、JAIMA セミナーにおける HPLC 講習会などを支援する。LC 分析士 4 段試験解説書、LC 分析士 3 段試験解説書、LC 分析士 2 段試験解説書、LC/MS 分析士 3 段試験解説書、LC/MS 分析士 2 段試験解説書、LC/MS 分析士初段試験解説書の各出版に向け、それぞれ 2 日間の査読会を実施する。

8) 化学センサー研究懇談会

懇談会講演会（9 月、分析化学会年会会期中）を開催するほか、他の学協会と共同で化学センサー・バイオセンサー関連シンポジウムを開催する。また、センサーに関する案内や資料を随時配付する。

9) 電気泳動分析研究懇談会

講演会を 1 回（分析化学会年会会期中）開催するほか、第 33 回キャピラリー電気泳動シンポジウム（SCE 2013）（11 月、東京）を開催する。またシンポジウムの要旨集アーカイブをホームページ上で公開するほか、本研究懇談会編の「キャピラリー電気泳動」の出版計画を進める。

10) イオンクロマトグラフィー研究懇談会

The 7th Asia-Pacific Symposium on Ion Analysis（11 月頃、韓国・テグ）、イオンクロマトグラフィー講習会（9 月、JAIMA コンファレンスと共催）、セパレーションサイエンス 2013（SS2013）（8 月頃、東京）、イオンクロマトグラフィー講演会（9 月、分析化学会第 62 年会と共催、近畿大学）、日中韓分析化学シンポジウム（GC、HPLC、FIA 各研究懇談会と共催、日時会場未定）、第 30 回イオンクロマトグラフィー討論会（11 月頃、愛知）を開催する。この他、運営委員会を 3 回開催する予定。また「分析化学教育用ビデオ」の内容改訂（DVD 化）と IC 分析士認定試験問題作成と試験の実施に取り組む。

11) フローインジェクション分析研究懇談会

委員会を 1 回、「Journal of Flow Injection Analysis」（JFIA）誌編集委員会を 2 回、講演会（7 月末から 8 月初旬・Separation Sciences 2013（未定）、9 月・第 62 年会会期中（近畿大）、9 月・ICFIA（Porto, Portugal）、11 月・第 51 回フローインジェクション分析講演会（熊本大））を開催するほか、JFIA 誌を 2 回（6 月、12 月）発行する。

12) 環境分析研究懇談会

講演会を 3 回（6 月、第 57 年会会期中、11 月）、幹事

会を1回開催する。CJK シンポジウム(日本)に参加する。また適宜メーリングリストを用いた情報交換を行う。

- 13) 表示・起源分析技術研究懇談会
講演会を3回(7月, 第62年会会期中, 10月か11月), 運営委員会を2回開催する。
- 14) レアメタル分析研究懇談会
講演会を2回(6月及び第62年会中), 運営委員会1回(第62年会中)開催する。また, 必要に応じ他の研究懇談会との共催で講演会を開催する。なお, メーリングリストを作成し, 適宜情報交換を行う。
- 15) 熱分析研究懇談会
講演会を2回(9月, 第62年会会期中及び12月)開催予定。またメーリングリストを活用し, 情報交換を行う。
- 16) 溶液反応化学研究懇談会
講演会を1回と懇談会を1回(いずれも第73回分析化学討論会会期中)開催する。メーリングリストを作成し, 適宜情報交換を行う。
- 17) 受託分析研究懇談会
懇談会を設立し, 総会と講演会を行う。

・支部において定款第5条の事業を次のとおり行う。

【北海道支部】

1. 夏季研究発表会(7月), 冬季研究発表会(1月下旬または2月上旬)を開催する。
2. 化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
3. 第29回分析化学緑陰セミナー(7月), 公開セミナー(9月), 第49回氷雪セミナー(1月上旬)を開催する。
4. 支部ニュース(7月, 12月)を発行する。
5. 第73回分析化学討論会(5月)を実行委員会としてとりおこなう。

【東北支部】

1. 研究発表会:みちのく分析科学シンポジウム2013, 平成25年度化学系学協会東北大会及び日本化学会東北支部70周年記念国際会議
2. 講演会:分析化学と化学分析の青森フォーラム2013(青森地区講演会), 福島地区講演会, 各地区講演会
3. 講習会:材料評価技術セミナー
4. セミナー:分離機能とセンシング機能の化学セミナー2013, 第9回環境と分析化学のセミナー「みちのくセミナー」, 第15回機能構造と分析化学シンポジウム, 平成25年度日本分析化学会東北支部若手交流会, 第30回無機・分析化学コロキウム

【関東支部】

1. 講習会:第54回機器分析講習会, 分析化学基礎実習講

座を開催する。

2. 講演会:新潟地区部会研究発表会, 茨城地区分析技術交流会, 新世紀賞講演会, 新年交流会のほか, 随時開催する。
3. セミナー:分析化学若手交流会のほか, 随時開催する。
4. 支部ニュースの発行ほか常任幹事会で必要と認められた事項を行う。

【中部支部】

1. 研究発表会:第44回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月, 静岡大学工学部)を共催の予定。
2. 講演会:愛知・信州・富山での地区講演会, 及び訪日研究者講演会の開催を予定。
3. 講習会:第23回基礎及び最新の分析化学講習会を開催の予定。
4. セミナー:第32回分析化学中部夏期セミナー(8月, 石川県羽咋市), 「分析中部・ゆめ21」若手交流会・第13回高山フォーラム(11月, 高山市図書館)を開催の予定。

【近畿支部】

1. 講演会:支部講演会(4月, 12月), 近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(1月)を開催の予定。
2. 講習会:基礎分析化学講習会(随時), 第60回機器による分析化学講習会(5月, 7月)を開催の予定。
3. セミナー:提案公募型事業(随時), 第7回平成夏期セミナー「ぶんせき秘帖」(8月)を開催の予定。
4. 支部ニュースの発行(随時)

【中国四国支部】

1. 講演会:中国四国支部分析化学講演会(3月8日, 岡山), 岡山(3月6日)・広島・周南・宇部・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会, 外国人学者講演会を随時開催の予定。
2. 講習会:第50回分析化学講習会(8月頃, 松山)を開催の予定。
3. セミナー:第19回中国四国支部分析化学若手セミナー(7月または8月, 徳島)を開催の予定。

【九州支部】

1. 研究発表会:第50回化学関連支部合同九州大会(6月)を開催の予定。
2. 講演会:第26回春の研究講演会(5月), 第31回夏季セミナー(7月), 支部講演会・見学会(11月)のほか, 機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
3. 講習会:第54回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
4. その他:地区懇話会, 支部ニュースの発行などを行う予定。

以上

平成 24 年 度 会 計 報 告

貸 借 対 照 表

(平成 25 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	111,585,415		
未 収 会 費	2,074,000		
未 収 購 読 料	225,717		
売 掛 金	9,305,415		
未 収 金	5,987,963		
未 収 収 益	132,329		
棚 卸 資 産	29,446,571		
貯 蔵 品	96,680		
一年以内回収予定長期貸付金	199,920		
前 払 金	3,791,561		
仮 払 金	201,624		
流 動 資 産 合 計	163,047,195		
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	10,000,000		
基 本 財 産 合 計	10,000,000		
(2) 特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	76,327,173		
標 準 物 質 開 発 基 金	64,699,044		
分 析 技 術 教 育 基 金	12,963,493		
国 際 交 流 事 業 基 金	22,025,643		
分 析 化 学 研 究 奨 励 基 金	8,368,411		
預 り 保 証 金 引 当 預 金	11,000,000		
支 部 研 究 懇 談 会 特 定 預 金	28,103,318		
特 定 資 産 合 計	223,487,082		
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	16,240,658		
器 具 備 品	368,206		
土 地	49,172,915		
商 標 権	322,966		
ソ フ ト ウ ェ ア	2,432,479		
電 話 加 入 権	28,000		
敷 金	100,000		
長 期 貸 付 金	2,927,400		
そ の 他 固 定 資 産 合 計	71,592,624		
固 定 資 産 合 計	305,079,706		
資 産 合 計	468,126,901		

貸借対照表

(平成25年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,404,104		
前受会費	37,180,625		
前受購読料	5,109,833		
前受金	870,000		
預り金	1,059,084		
仮受金	49,500		
賞与引当金	3,624,168		
流動負債合計	59,297,314		
2. 固定負債			
退職給付引当金	93,310,947		
預り保証金	11,000,000		
固定負債合計	104,310,947		
負債合計	163,608,261		
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	0		
指定正味財産合計	0		
(うち基本財産への充当額)	(0)		
(うち特定資産への充当額)	(0)		
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	304,518,640		
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)		
(うち特定資産への充当額)	(136,159,909)		
正味財産合計	304,518,640		
負債及び正味財産合計	468,126,901		

(注) 当年度は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)の適用初年度であるため、前年度および増減欄の数値は記載していない。

貸借対照表内訳表

(平成25年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資 産 の 部				
1. 流 動 資 産				
現 金 預 金	86,156,757	25,428,658	0	111,585,415
未 収 会 費	1,037,000	1,037,000	0	2,074,000
未 収 購 読 料	225,717	0	0	225,717
売 掛 金	9,305,415	0	0	9,305,415
未 収 金	5,987,963	0	0	5,987,963
未 収 収 益	132,329	0	0	132,329
棚 卸 資 産	29,446,571	0	0	29,446,571
貯 蔵 品	79,430	17,250	0	96,680
一年以内回収予定長期貸付金	0	199,920	0	199,920
前 払 金	3,791,561	0	0	3,791,561
仮 払 金	165,332	36,292	0	201,624
流 動 資 産 合 計	136,328,075	26,719,120	0	163,047,195
2. 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
定 期 預 金	0	10,000,000	0	10,000,000
基 本 財 産 合 計	0	10,000,000	0	10,000,000
(2) 特 定 資 産				
退 職 給 付 引 当 資 産	76,327,173	0	0	76,327,173
標 準 物 質 開 発 基 金	64,699,044	0	0	64,699,044
分 析 技 術 教 育 基 金	12,963,493	0	0	12,963,493
国 際 交 流 事 業 基 金	22,025,643	0	0	22,025,643
分 析 化 学 研 究 奨 励 基 金	8,368,411	0	0	8,368,411
預 り 保 証 金 引 当 預 金	11,000,000	0	0	11,000,000
支 部 研 究 懇 談 会 特 定 預 金	28,103,318	0	0	28,103,318
特 定 資 産 合 計	223,487,082	0	0	223,487,082
(3) そ の 他 の 固 定 資 産				
建 物	15,266,219	974,439	0	16,240,658
器 具 備 品	346,114	22,092	0	368,206
土 地	46,222,540	2,950,375	0	49,172,915
商 標 権	322,966	0	0	322,966
ソ フ ト ウ ェ ア	2,432,479	0	0	2,432,479
電 話 加 入 権	26,320	1,680	0	28,000
敷 金	94,000	6,000	0	100,000
長 期 貸 付 金	0	2,927,400	0	2,927,400
そ の 他 の 固 定 資 産 合 計	64,710,638	6,881,986	0	71,592,624
固 定 資 産 合 計	288,197,720	16,881,986	0	305,079,706
資 産 合 計	424,525,795	43,601,106	0	468,126,901

貸借対照表内訳表

(平成25年2月28日現在)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
Ⅱ 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	11,294,823	109,281	0	11,404,104
前受会費	18,610,521	18,570,104	0	37,180,625
前受購読料	5,109,833	0	0	5,109,833
前受金	870,000	0	0	870,000
預り金	895,646	163,438	0	1,059,084
仮受金	49,500	0	0	49,500
賞与引当金	2,971,818	652,350	0	3,624,168
流動負債合計	39,802,141	19,495,173	0	59,297,314
2. 固定負債				
退職給付引当金	76,514,976	16,795,971	0	93,310,947
預り保証金	11,000,000	0	0	11,000,000
固定負債合計	87,514,976	16,795,971	0	104,310,947
負債合計	127,317,117	36,291,144	0	163,608,261
Ⅲ 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
民間補助金	0	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0	(0)
2. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	297,208,678	7,309,962	0	304,518,640
(うち特定資産への充当額)	(0)	(10,000,000)	0	(10,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(136,159,909)	(0)	0	(136,159,909)
正味財産合計	297,208,678	7,309,962	0	304,518,640
負債及び正味財産合計	424,525,795	43,601,106	0	468,126,901

正味財産増減計算書

(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	6,599		
基本財産運用益	6,599		
特定資産運用益	481,064		
退職給付引当資産運用益	269,720		
標準物質開発基金運用益	137,168		
分析技術教育基金運用益	5,985		
国際交流事業基金運用益	1,863		
分析化学研究奨励基金運用益	56,681		
預り保証金引当預金運用益	4,028		
支部研究懇談会特定預金運用益	5,619		
受取入金会金	208,500		
受取会費	87,015,875		
正会員会費	37,993,850		
学生会員会費	2,887,675		
維持会員会費	18,296,050		
特別会員会費	17,926,300		
公益会員会費	9,912,000		
事業収益	186,111,649		
購読料収入	8,706,806		
年会収入	11,691,799		
討論会収入	12,838,095		
講演会収入	2,786,352		
講習会収入	33,032,171		
研究懇談会収入	9,755,500		
技能試験収入	9,845,000		
分析士事業収入	4,394,475		
S S 収入	635,100		
印税収入	1,303,135		
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,859,675		
標準物質頒布収入	31,623,180		
広告料収入	40,019,938		
別刷頒布収入	12,123,408		
複写権使用料収入	675,015		
技術情報交流会収入	1,129,000		
技能試験受託収入	1,995,000		
J I S 改正受託収入	698,000		
受取補助金等	8,825,403		
受取民間補助金	1,350,000		
受取補助金等振替額	7,475,403		
受取寄附金	200,000		
受取寄附金	200,000		
雑収	1,436,863		
受取利息	80,786		
雑収	1,356,077		
経常収益計	284,285,953		
(2) 経常費用			
事業費	229,259,838		
給料手当	50,642,526		
臨時雇賃金	10,652,669		
法定福利費	8,174,645		
会議費	32,073,603		
旅費交通費	9,089,417		
通信運搬費	10,975,175		
減価償却費	2,002,668		
消耗什器備品費	241,060		

正味財産増減計算書

(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消 耗 品 費	3,727,374		
印 刷 製 本 費	45,421,885		
光 熱 水 料 費	331,403		
賃 借 料 料 費	4,799,007		
保 険 謝 料	5,538		
諸 租 税 公 課	10,470,810		
支 払 負 担 金	3,667,684		
支 払 寄 附 金	172,000		
委 託 費	5,000		
試 料 調 製 費	25,095,149		
表 彰 費	3,792,841		
支 払 手 数 料	2,686,204		
雑 費	14,806		
管 理 費	5,218,374		
給 料 手 当	43,086,316		
法 定 福 利 費	11,116,652		
福 厚 生 費	1,794,434		
旅 交 通 費	52,350		
通 信 運 搬 費	7,742,837		
減 価 償 却 費	2,247,927		
消 耗 品 費	127,830		
修 繕 費	1,522,449		
印 刷 製 本 費	1,755,150		
光 熱 水 料 費	2,390,626		
賃 借 料 料 費	122,574		
諸 租 税 公 課	3,620,303		
支 払 負 担 金	436,284		
委 託 費	2,774,439		
雑 費	6,670,863		
	711,597		
経 常 費 用 計	272,346,154		
評 価 損 益 等 調 整 前 当 期 経 常 増 減 額	11,939,799		
評 価 損 益 等 計	0		
当 期 経 常 増 減 額	11,939,799		
2. 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
退 職 給 付 引 当 金 戻 入 益	5,989,222		
経 常 外 収 益 計	5,989,222		
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0		
当 期 経 常 外 増 減 額	5,989,222		
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	17,929,021		
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	286,589,619		
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	304,518,640		
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 補 助 金 等	6,900,000		
受 取 民 間 補 助 金	6,900,000		
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△7,475,403		
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△575,403		
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	575,403		
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0		
III 正 味 財 産 期 末 残 高	304,518,640		

(注) 当年度は、「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)の適用初年度であるため、前年度および増減欄の数値は記載していない。

正味財産増減計算書内訳表

(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	6,599	0	6,599
基本財産運用益	0	6,599	0	6,599
特定資産運用益	481,064	0	0	481,064
退職給付引当資産運用益	269,720	0	0	269,720
標準物質開発基金運用益	137,168	0	0	137,168
分析技術教育基金運用益	5,985	0	0	5,985
国際交流事業基金運用益	1,863	0	0	1,863
分析化学研究奨励基金運用益	56,681	0	0	56,681
預り保証金引当預金運用益	4,028	0	0	4,028
支部研究懇談会特定預金運用益	5,619	0	0	5,619
受取入金会金	104,250	104,250	0	208,500
受取会費	43,507,938	43,507,937	0	87,015,875
正会員会費	18,996,925	18,996,925	0	37,993,850
学生会員会費	1,443,838	1,443,837	0	2,887,675
維持会員会費	9,148,025	9,148,025	0	18,296,050
特別会員会費	8,963,150	8,963,150	0	17,926,300
公益会員会費	4,956,000	4,956,000	0	9,912,000
事業収益	186,111,649	0	0	186,111,649
購読料収入	8,706,806	0	0	8,706,806
年会収入	11,691,799	0	0	11,691,799
討論会収入	12,838,095	0	0	12,838,095
講演会収入	2,786,352	0	0	2,786,352
講習会収入	33,032,171	0	0	33,032,171
研究懇談会収入	9,755,500	0	0	9,755,500
技能試験収入	9,845,000	0	0	9,845,000
分析士事業収入	4,394,475	0	0	4,394,475
S S 収入	635,100	0	0	635,100
印税収入	1,303,135	0	0	1,303,135
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,859,675	0	0	2,859,675
標準物質頒布収入	31,623,180	0	0	31,623,180
広告料収入	40,019,938	0	0	40,019,938
別刷頒布収入	12,123,408	0	0	12,123,408
複写権使用料収入	675,015	0	0	675,015
技術情報交流会収入	1,129,000	0	0	1,129,000
技能試験受託収入	1,995,000	0	0	1,995,000
J I S 改正受託収入	698,000	0	0	698,000
受取補助金等	8,825,403	0	0	8,825,403
受取民間補助金	1,350,000	0	0	1,350,000
受取補助金等振替額	7,475,403	0	0	7,475,403
受取寄附金	200,000	0	0	200,000
受取寄附金	200,000	0	0	200,000
雑収入	0	1,436,863	0	1,436,863
受取利息	0	80,786	0	80,786
雑収入	0	1,356,077	0	1,356,077
経常収益計	239,230,304	45,055,649	0	284,285,953
(2) 経常費用				
事業費	229,259,840	0	0	229,259,840
給料手当	50,642,526	0	0	50,642,526
臨時雇賃金	10,652,669	0	0	10,652,669
法定福利費	8,174,645	0	0	8,174,645
会議費	32,073,603	0	0	32,073,603
旅費交通費	9,089,417	0	0	9,089,417
通信運搬費	10,975,175	0	0	10,975,175
減価償却費	2,002,668	0	0	2,002,668
消耗什器備品費	241,060	0	0	241,060

正味財産増減計算書内訳表
(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
消 耗 品 費	3,727,374	0	0	3,727,374
印 刷 製 本 費	45,421,886	0	0	45,421,886
光 熱 水 料 費	331,403	0	0	331,403
賃 借 料	4,799,007	0	0	4,799,007
保 険 料	5,538	0	0	5,538
諸 謝 金	10,470,810	0	0	10,470,810
租 税 公 課	3,667,684	0	0	3,667,684
支 払 負 担 金	172,000	0	0	172,000
支 払 寄 附 金	5,000	0	0	5,000
委 託 費	25,095,149	0	0	25,095,149
試 料 製 費	3,792,841	0	0	3,792,841
表 彰 費	2,686,204	0	0	2,686,204
支 払 手 数 料	14,806	0	0	14,806
管 理 費	5,218,374	0	0	5,218,374
給 料 手 当	0	43,086,314	0	43,086,314
法 定 福 利 費	0	11,116,652	0	11,116,652
福 利 厚 生 費	0	1,794,434	0	1,794,434
旅 費 交 通 費	0	52,350	0	52,350
通 信 運 搬 費	0	7,742,837	0	7,742,837
減 価 償 却 費	0	2,247,927	0	2,247,927
消 耗 品 費	0	127,830	0	127,830
修 繕 費	0	1,522,449	0	1,522,449
印 刷 製 本 費	0	1,755,150	0	1,755,150
光 熱 水 料 費	0	2,390,625	0	2,390,625
賃 借 料	0	122,574	0	122,574
諸 謝 金	0	3,620,303	0	3,620,303
支 払 負 担 金	0	436,284	0	436,284
委 託 費	0	2,774,439	0	2,774,439
雑 費	0	6,670,863	0	6,670,863
	0	711,597	0	711,597
経 常 費 用 計	229,259,840	43,086,314	0	272,346,154
評価損益等調整前当期経常増減額	9,970,466	1,969,333	0	11,939,799
評 価 損 益 等 計	0	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	9,970,466	1,969,335	0	11,939,799
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付引当金戻入益	4,911,162	1,078,060	0	5,989,222
経 常 外 収 益 計	4,911,162	1,078,060	0	5,989,222
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	4,911,162	1,078,060	0	5,989,222
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	14,881,626	3,047,395	0	17,929,021
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	282,327,052	4,262,567	0	286,589,619
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	297,208,678	7,309,962	0	304,518,640
II 指定正味財産増減の部				
受 取 補 助 金 等	6,900,000	0	0	6,900,000
受 取 民 間 補 助 金	6,900,000	0	0	6,900,000
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△7,475,403	0	0	△7,475,403
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△575,403	0	0	△575,403
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	575,403	0	0	575,403
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	297,208,678	7,309,962	0	304,518,640

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

当年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)
器具備品…定率法を採用している。
無形固定資産
ソフトウェア・商標権…定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	76,056,631	306,542	36,000	76,327,173
標準物質開発基金	64,946,842	346,888	594,686	64,699,044
分析技術教育基金	12,906,812	56,681	0	12,963,493
国際交流事業基金	24,020,498	5,985	2,000,840	22,025,643
分析化学研究奨励基金	8,366,548	1,863	0	8,368,411
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	29,848,140	3,170,354	4,915,176	28,103,318
小計	227,145,471	3,888,313	7,546,702	223,487,082
合計	237,145,471	3,888,313	7,546,702	233,487,082

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	—	(10,000,000)	—
小計	10,000,000	—	(10,000,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	76,327,173	—	—	(76,327,173)
標準物質開発基金	64,699,044	—	(64,699,044)	—
分析技術教育基金	12,963,493	—	(12,963,493)	—
国際交流事業基金	22,025,643	—	(22,025,643)	—
分析化学研究奨励基金	8,368,411	—	(8,368,411)	—
預り保証金引当預金	11,000,000	—	—	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	28,103,318	—	(28,103,318)	—
小計	223,487,082	—	(136,159,909)	(87,327,173)
合計	233,487,082	—	(146,159,909)	(87,327,173)

財務諸表に対する注記

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建 物	62,107,932	45,867,274	16,240,658
器 具 備 品	6,147,413	5,779,207	368,206
合 計	68,255,345	51,646,481	16,608,864

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
国 債			
第 88 回 利 付 国 債 (5 年)	60,075,000	60,558,000	483,000
合 計	60,075,000	60,558,000	483,000

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
民間補助金						
科学研究費補助金	(独)日本学術振興会	575,403	6,900,000	7,475,403	0	指定正味財産
先端分析技術・機器開発賞補助金	(社)日本分析機器工業会	0	900,000	900,000	0	
先端分析技術賞補助金	(一財)化学物質評価研究機構	0	450,000	450,000	0	
合 計		575,403	8,250,000	8,825,403	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
補助事業執行による振替額	7,475,403
合 計	7,475,403

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞 与 引 当 金	4,648,612	3,624,168	4,648,612	0	3,624,168
退職給付引当金(注)	99,300,168	0	0	5,989,222	93,310,946

(注) 当期減少額の「その他」は、平成24年4月の人事院勧告による国家公務員給与の引き下げに伴う本給の引き下げによる戻入額であります。

財 産 目 録

(平成 25 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	本部手許保管	運転資金として 188,419 円	941,107
	支部研究懇談会手許保管	運転資金として 752,688 円	
預金	普通預金	運転資金として	94,950,199
	三井住友銀行五反田支店	本部	26,336,981
	三井住友銀行新宿支店	本部	4,067,240
	みずほ銀行五反田支店	本部	22,858,381
	三菱 UFJ 銀行五反田支店	本部	29,838
	三菱 UFJ 銀行五反田支店	東京コンファレンス	648,251
	秋田銀行手形支店	若手の会	179,745
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	1,696,858
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	2,286,449
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	7,538,494
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	1,864,042
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	3,669,006
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,814,265
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	538,972
	福岡銀行姪浜支店	フローインジェクション分析研究懇談会	2,080,759
	三菱 UFJ 銀行綱島支店	化学センサー研究懇談会	255,156
	三井住友銀行麴町支店	分析試薬研究懇談会	200,869
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,958,623
	りそな銀行五反田支店	X 線分析研究懇談会	1,080,359
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	5,547,082
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	4,092,756
	群馬銀行桐生支店	環境分析研究懇談会	1,323,148
	東邦銀行福島医大病院支店	電気泳動分析研究懇談会	508,170
	もみじ銀行西条支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,338,035
	三菱東京 UFJ 銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	31,915
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	4,515
	福岡銀行周船寺支店	ASIANALYSIS	3,000,290
	ゆうちょ銀行 (口座振替)	運営資金として	4,233,194
		本部	2,401,858
		有機微量分析研究懇談会	49,805
		レアメタル分析研究懇談会	21,200
		表示・起源分析技術研究懇談会	1,759,331
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,000
	ゆうちょ銀行 (通常貯金)	運営資金として	4,119,594
		九州支部	2,272,141
		有機微量分析研究懇談会	1,404,763
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	232,690
		フローインジェクション分析研究懇談会	210,000
	定期預金	運転資金として	7,341,321
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,453
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	4,261,842
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,274,026
未収会費	会員に対する 1 月, 2 月末収額	公益目的事業及び法人の管理業務の財源として使用している。	2,074,000
未収購読料	分析化学, 英文誌, 海外誌の 1 月, 2 月末収額	公益目的事業で発行している雑誌購読料の未収額	225,717
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業で販売している商品に対する未収額	9,305,415
未収金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷, 雑誌に掲載している広告料に対する未収額	5,987,963
未収収益	第 88 回利付国債 (5 年) の未収利息	退職給付引当資産に係る有価証券の未収利息	132,329
棚卸資産	会誌, 標準物質, 教育ビデオ, 教育 DVD	公益目的事業で販売している商品	29,446,571

財 産 目 録

(平成 25 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	貯蔵品	切手、印紙、はがき、図書カード	公益目的事業及び法人の管理業務で使用している。	96,680
	一年以内回収予定 長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	199,920
	前払金	翌年度の討論会経費、会員管理システム利用料の前払額	翌年度討論会経費、会員管理システム利用料他	3,791,561
	仮払金	労働保険料	職員に対するもの	201,624
流動資産合計				163,047,195
(固定資産)	基本財産	定期預金 中央三井信託銀行本店営業部	運用益を管理費の財源として使用している。	10,000,000
	特定資産	退職給付引当資産	職員の退職金の支払いのために使用している。	1,251,976
		みずほ銀行五反田支店 定期預金 みずほ銀行五反田支店		15,000,197
		投資有価証券 大和証券五反田支店	満期保有目的で保有し、運用益を退職金の支払の財源として使用している。	60,075,000
	標準物質開発基金	普通預金 三井住友銀行五反田支店	標準物質開発事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している。	5,729,007
		定期預金 三井住友銀行五反田支店		50,000,000
		MMF 大和証券五反田支店		8,970,037
	分析技術教育基金	普通預金 三井住友銀行五反田支店	講演会事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している。	2,963,493
		定期預金 三井住友銀行五反田支店		10,000,000
	国際交流事業基金	普通預金 三井住友銀行五反田支店	研究会事業の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している。	875,643
		定期預金 三井住友信託銀行芝営業部		21,150,000
	分析化学研究奨励基金	金銭信託 三井住友信託銀行芝営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究の奨励及び研究業績の表彰事業の財源として使用している。	113,757
		貸付信託 三井住友信託銀行芝営業部		500,000
		定期預金 三井住友信託銀行芝営業部		7,754,654
	預り保証金引当預金	定期預金 三井住友銀行五反田支店	会誌広告で㈱明報社から受け入れた預金であり、運用益を本事業の財源として使用している。	10,000,000
		定期預金 三井住友銀行五反田支店	標準物質の販売で西進商事(株)で受け入れた預金であり、運用益を本事業の財源として使用している。	1,000,000
	支部研究懇談会特定預金	普通預金 北洋銀行本店営業部	各支部研究懇談会の積立資産であり、運用益を本事業の財源として使用している。	557,739
		七十七銀行大学病院前支店	北海道支部	5,513,644
		みずほ銀行名古屋支店	東北支部	5,507,128
		りそな銀行御堂筋支店	中部支部	901,038
		三菱東京 UFJ 銀行	近畿支部	839,102
		もみじ銀行西条支店	フローインジェクション分析研究懇談会	2,019,164
		定期預金 七十七銀行大学病院前支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	3,011,261
		武蔵野銀行みずほ台支店	関東支部	2,412,147
		りそな銀行五反田支店	有機微量分析研究懇談会	2,326,054
		りそな銀行五反田支店	X線分析研究懇談会	1,996,722
		りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	3,019,319
		りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	

財 産 目 録

(平成 25 年 2 月 28 日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額		
(流動資産) その他 固定資産	建物	282.8 m ² 東京都品川区西五反田 1-26-2	主たる事務所。公益目的事業及び法人の管理業務で使用している。	16,240,658	
	器具備品	東京都品川区西五反田 1-26-2 コンパックラック 間仕切りアコーデオン リコーリコピーボード 液晶プロジェクター ep emp 液晶プロジェクターエプソン 303 号室エアコン 304 号室マルチエアコン 304 号室エアコン 305 号室エアコン 308 号室エアコン マーカーシートリーダー	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び法人の管理業務で使用している。	1 1 1 16,813 13,684 44,450 1 73,403 99,977 18,375 101,500	
	土地	38.78 m ² 東京都品川区西五反田 1-26-2	主たる事務所。公益目的事業及び法人の管理業務で使用している。	49,172,915	
	商標権	Anal.Sci. 誌、ぶんせき、分析化学	公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用している。	322,966	
	ソフトウェア	AS 論文投稿受付システム、技能試験受付システム	公益目的保有財産であり、公益目的事業で使用している。	2,432,479	
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用している。	28,000	
	敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000	
	長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		2,927,400	
	固定資産合計			305,079,706	
	資 産 合 計			468,126,901	
	(流動負債)	未払金	環境テクノス(株) 消費税 他	標準物質管理業務に対する未払額	4,145,439 7,258,665
		前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	37,180,625
		前受購読料	翌年度の購読料の前受額	公益目的事業で発行している雑誌購読料の前受額	5,109,833
		前受金	高分子分析研究懇談会	翌年度実施の技術講習会に対する前受額	870,000
預り金		源泉所得税 他	源泉所得税、社会保険料 他	1,059,084	
仮受金		分析試験に対する		49,500	
賞与引当金		職員 7 名の夏期賞与	職員 7 名の夏期賞与の支払いに備えたもの	3,624,168	
流動負債合計			59,297,314		
(固定負債)	退職給付引当金	職員 8 名の退職金	職員 8 名の退職金の支払いに備えたものたもの	93,310,947	
	預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	会誌広告に関して受け入れたもの 標準物質の販売に関して受入れたもの	10,000,000 1,000,000	
固定負債合計			104,310,947		
負 債 合 計			163,608,261		
正 味 財 産			304,518,640		

平成 25 年度正味財産増減予算書
(平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	50	0	50
基本財産運用益	0	50	0	50
特定資産運用益	530	0	0	530
退職給付引当資産運用益	350	0	0	350
標準物質開発基金運用益	150	0	0	150
分析技術教育基金運用益	5	0	0	5
国際交流事業基金運用益	10	0	0	10
分析化学研究奨励基金運用益	15	0	0	15
受取入金会金	100	100	0	200
受取入金会金	100	100	0	200
受取会費	42,450	42,450	0	84,900
会費収入	42,450	42,450	0	84,900
事業収益	172,308	0	0	172,308
購読料収入	8,900	0	0	8,900
年会収入	15,000	0	0	15,000
討論会収入	12,853	0	0	12,853
講演会収入	690	0	0	690
講習会収入	28,755	0	0	28,755
研究懇談会収入	6,568	0	0	6,568
技能試験収入	10,800	0	0	10,800
分析士事業収入	4,800	0	0	4,800
S S 収入	700	0	0	700
印税収入	1,924	0	0	1,924
教育ビデオ・DVD頒布収入	2,000	0	0	2,000
標準物質頒布収入	27,800	0	0	27,800
広告料収入	34,090	0	0	34,090
別刷頒布収入	11,060	0	0	11,060
複写権使用料収入	600	0	0	600
技術情報交流会収入	1,320	0	0	1,320
研究懇談会例会参加費収入	1,750	0	0	1,750
技能試験受託収入	2,000	0	0	2,000
J I S 改正受託収入	698	0	0	698
受取補助金等	7,920	0	0	7,920
国庫補助金収入	6,570	0	0	6,570
民間補助金収入	1,350	0	0	1,350
受取寄付金	200	0	0	200
受取寄付金	200	0	0	200
雑収入	0	1,311	0	1,311
受取利息収入	0	245	0	245
雑収入	0	1,066	0	1,066
経常収益計	223,508	43,911	0	267,419
(2) 経常費用				
事業費	241,512		0	
給料手当	48,790		0	48,790
臨時雇賃金	9,009		0	9,009
退職給付費用	0		0	0
法定福利費	5,986		0	5,986
会議費	29,451		0	29,451
旅費交通費	15,101		0	15,101
通信運搬費	9,490		0	9,490
減価償却費	1,928		0	1,928
消耗品費	5,785		0	5,785
印刷製本費	47,902		0	47,902
光熱水料費	329		0	329

平成 25 年度正味財産増減予算書
(平成 25 年 3 月 1 日～平成 26 年 2 月 28 日)

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
賃借料	8,279		0	8,279
諸謝金	10,581		0	10,581
租税公課	1,950		0	1,950
支払助成金	380		0	380
委託託成費	34,144		0	34,144
試験調製費	7,590		0	7,590
保険彰料費	0		0	0
表彰費	3,253		0	3,253
雑費	1,565		0	1,565
管理費		30,826	0	30,826
給料手当		10,710	0	10,710
退職給付費用		0	0	0
法定福利費		1,314	0	1,314
福利厚生費		20	0	20
旅交通費		35	0	35
通信運搬費		2,200	0	2,200
減価償却費		123	0	123
消耗品費		420	0	420
修繕費		1,750	0	1,750
印刷製本料費		800	0	800
光熱水借料		122	0	122
賃借料		2,450	0	2,450
諸謝金		0	0	0
支払負担金		3,516	0	3,516
委託託成費		7,153	0	7,153
雑費		213	0	213
経常費用計	241,512	30,826	0	272,338
評価損益等調整前当期経常増減額	-18,004	13,085	0	-4,919
基本財産評価損益等	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	-18,004	13,085	0	-4,919
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-18,004	13,085	0	-4,919
一般正味財産期首残高				
一般正味財産期末残高				